

2年生 生徒現地学習会（水平社博物館見学＆周辺フィールドワーク）

8月20日（水）、本校2年生22名と白鳳中2年生25名で、御所市の水平社博物館を訪問しました。

この活動は、「なぜ」からはじまる現地学習会として、歴史の学習を深め、人権問題について考えることを目的としています。

水平社博物館では、水平社の創設者である西光万吉をはじめ、当時の人々の苦難と、差別撤廃を目指す強い意志について学びました。「鬼滅の刃」に「ONE PIECE」、ザ・ブルーハーツなど、人気漫画やアーティストが展示されていました。「鬼滅の刃」に出てくるセリフ「永遠というのは人の想（おも）いだ 人の想いこそが永遠であり 不滅なんだよ」は、人権を大切にする社会の実現は道半ばだが、「水平社宣言」の理念は永遠で、それをみんなと共有したい。そんな思いが込められていることを感じました。また、周辺フィールドワークで、西光万吉の生家跡などを訪れ、過去の出来事が単なる歴史ではなく、今もなお私たちの足元に息づいていることを実感しました。

西光寺



水平社記念碑



燕神社



この体験を通じて、過去の過ちを繰り返さないために、私たちが今、何をすべきかを真剣に考える機会を得ました。今回の活動で得た学びを、学校で共有し、人権学習をさらに深めていきたいと考えています。私たち一人一人が、歴史を学び、互いを尊重し合うことの大切さを理解し、差別や偏見のない社会を築くための第一歩を踏み出せるよう努力していきます。

